



## ゾウの鼻はどうして長いはなのなが

### ゾウの先祖の鼻は長くなかったせんぞのはなのなが

今から約6000万年前ごろ現れたゾウの先祖は、大きさや見かけが現在のバクに似た動物でした。体も小さく、鼻も短かかったようです。そのころのゾウは、湿ったぬま地や森の中でくらししていましたが、草原が広がってくるにつれて、草原で生活するようになり、だんだん体も大きくなっていきました。えさの草などが不足したとき、鼻の長いゾウのほうが、短いゾウより生きのびることができました。鼻の長いゾウのほうが、草原に生えている木の、少しでも高い枝にある葉を、とって食べることができたからです。

### 巨大な体は、かがむのがむずかしいきょだいのからだ

また、体が大きくなるにつれて、水を飲むとか、地面近くにある草などを食べるなどで、ひざを曲げたり体をかがめたりすることが、にがてになってきます。巨大な体で、ひざを曲げたり立ち上がったたりするのは、大変なエネルギーがいるからです。

ある動物園で、ネズミに鼻をかじられてけがをし、鼻が使えなくなったゾウがいました。しかたなく、このゾウは、飲んだり食べたりするたびに、前足を折り曲げては立ち上がることをくり返していました。やがて、このゾウは、体が弱って死んでしまいました。

今のゾウのように、鼻が長く、鼻から水を吸い上げて、口に入れることができたり、鼻で草をむしって、口に入れることができたりすれば、体をかがめる必要はなくなります。

このように、生きていくのに便利な特徴をもつ仲間が、生き残って子孫をふやし、今の鼻の長いゾウになったといえます。(監修・今泉 忠明)

